

第4次さんかくプラン行政評価(案) 専門委員会委員の意見による修正項目

資料 2

重点 目標	ページ	該当箇所	委員会での意見	修正結果
/	/	全体	「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」と答えた人の割合は、どちらの回答が多いか等の比率、経年の変化等も分かるような積み上げグラフの方が情報量も多く適切なのではないか	指標F(P15～P19)、J(P24～P25)に平成30年度の棒グラフ、平成29、30年度の回答割合一覧を追加。
			同じ「横ばい」という表現にしても、悪い方に動いている場合や良い方に動いている場合等統計学的な原則を守りつつも、評価の文章のニュアンスを変えてほしい	検定の結果、有意差が認められなかった指標について「横ばい」という言葉を使用しない表現に変更し、P7「成果指標H29との比較」の欄の「→」を削除
			「I章 第4次さんかくプランの効き目を測る」の文章に「第4次さんかくプランとは～」など説明を入れた方がいいのではないか	第4次さんかくプランについての説明を記載
1	12	目標①	評価に、「内容を点検していく必要がある」等を加えてもいいのではないか	「内容を確認していく必要がある」という内容に修正
	12	指標A	中学生の「平等にあつかわれている」と感じる値が4ポイントも下がっているのは由々しきことだ。なぜ平等にあつかわれていないのか理由の調査を検討してほしい	評価に「4.6ポイント減少している」、「平等にあつかわれていない」と感じる原因を確認する」という内容を記載
	12	指標C	インターネットのフィルタリングについては、わからない人が多いので、広報するなどさらなる普及が必要	フィルタリングの重要性について周知していくことが必要であるという内容を記載
2	14	目標⑤	どの年齢層が興味を持って受講しているのか内訳をわかるようにしてほしい	各講座の受講者数を記載
	20		高校生等の若年層にも啓発する必要があることを加えてほしい	若年層に対してデートDVの理解を促進するよう啓発を行うという内容に修正
	20	指標F	「殴る・蹴る」の行為を重大な人権侵害であると認識している人は9割しかないのはどうなのか。「9割程度の人が認識している」と「9割程度の人しか認識していない」ではニュアンスが違う	5つの行為いずれにおいても10割に達していないことを記載
3	23	指標H	女性の受診率が低いので、そのことを書いてほしい	受診率が、男性より女性が低いことを記載。健康診査の必要性について女性に働きかけていくという内容に修正
4	28	指標K	30代の男性の割合が下がっているので、評価に「ただし30代男性では～」と加えてはどうか	30代の男性が下がっていることを記載
	27、28	指標L	事業者で男性も女性もお茶を出すというのが4割強で過半数にもなっていないので、まだまだ意識が低いなど評価の表現を工夫してほしい	女性社員がお茶を出している割合については、現状値の説明と評価のところに記載し、根強く残っている固定的な性別役割分担意識については評価に記載。

重点目標	ページ	該当箇所	委員会での意見	修正結果
6	32	目標⑩	参加することによるインセンティブを付けるなど、もっと強力に要請したほうが積極的な参加につながるのではないか。	評価に、積極的な参加を促す必要があることを記載
7	38	目標⑪	今でも551人いるので、「目標値に近づいている」は言い過ぎではないか。表現の方法を変えてほしい	「待機児童数が依然として多い」と修正
	37	指標S	参考グラフ【非正規社員】の男性の「よくとれている」の「0%」を書く方が良い	「0%」を記載
	36、37		棒グラフの全体、男性、女性の下にnで人数を入れるとわかりやすい	棒グラフ全てに「n=人数」を記載
8	40	目標⑭	平成30年度は減少しているので、具体的な対策を評価に加えてほしい	事業内容を見直すことを記載
	40	指標T	全体的に低いことを評価に加えてほしい	低い割合であることを記載
9	43	目標⑰	「統計的には上昇しているが目標値に達していない」を評価に加えるなど、表現を考えてほしい	目標値達成に向けて管理職登用を図るという内容に修正
	42	指標U	単位町内会のうち女性会長が何人いるのかわかるよう、人数を加えてほしい	女性の単位町内会の数字を記載